

# 事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード		05-04-01		戦略プラン		<input type="radio"/> 協働 <input checked="" type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事		
事務事業名		ゆいの森あらかわの管理運営		部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	岡村	
				担当者名	子安、小沢、岩本	内線	2256	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）		01-02-01	事務管理費					
		01-03-01	事業運営費					
事務事業の種類		<input type="radio"/> 新規事業                 （ <input type="radio"/> 7年度 <input type="radio"/> 6年度                 ）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	平成 28	（ 2016 ）		年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例		
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		令和	（ ）	年度	法令等		
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分		<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V 文化創造都市						
	政策	10 活力ある地域コミュニティの形成						
	施策	02 地域文化とコミュニティの拠点づくり						
目的	ゆいの森あらかわの適切な維持管理により施設の長寿命化を図るとともに、生涯学習や地域コミュニティの拠点となるよう、ゆいの森あらかわにおいて、中央図書館、吉村昭記念文学館、子どもひろばの3つの機能が有機的に融合した事業及び、他部署や他機関と連携した事業を展開するほか、ボランティア活動の支援を行う。							
対象者等	ゆいの森あらかわ利用者							
内容	【開設】平成29年3月26日 【所在地】荒川区荒川2-50-1 【土地面積】4,111㎡ 【延床面積】10,944㎡ 【構造】鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 【開館時間】午前9時～午後8時30分 【主な事業】 ・中央図書館、吉村昭記念文学館、子どもひろば等の各機能が連携した講演会やイベント等を開催 ・地域コミュニティの拠点として、他部署や他機関と連携した事業の展開及びボランティア活動の支援							
経過	平成21年11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置 平成23年 7月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定 平成28年 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 平成29年 1月 竣工 3月26日 開館（開館時間 午前9時30分～午後8時30分） 4月～5月 開館記念イベント開催 令和 2年 4月 新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館（4月8日～5月29日） 令和 4年 5月 午前9時開館の実施（開館時間 午前9時～午後8時30分）							
必要性	区内全体の知とコミュニティの醸成を図るため、世代や地域、目的が違う人々が集い、交流と体験を通して、知の集積や発信、新たな知的文化活動の誘発や企画が生まれる施設の必要性は高い。							
実施方法	（ 二一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員 ） 夜間総合受付・設備維持管理・清掃・警備・植栽管理業務等を委託							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			4年度	5年度	6年度	7年度見込み		目標値(8年度)
	①	ゆいの森あらかわ入館者数	618,902	684,244	718,631	725,315	732,000	
	②	ボランティア活動者数	111	134	156	191	150	ゆいの森あらかわ・地域図書館
③								
事務事業の分類			分類についての説明・意見等					
7年度		8年度						
重点的に推進		重点的に推進		安全・安心で快適な施設運営と設備の適正な維持管理を図り、地域コミュニティ及び文化振興の拠点として、3つの機能を生かした事業を重点的に推進する。				

予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		178,467	180,102	174,126	187,119	210,762	185,012	188,474
決算額(7年度は見込み)		163,517	157,790	163,426	180,837	175,270	175,074	188,474
実績の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
事項名(7年度は見込み)								
修繕件数		20	15	21	23	22	21	22
事業開催数(回)		514	321	350	407	457	477	482

## 予算・決算の内訳

(単位：千円)

令和5年度(決算)			令和6年度(決算)			令和7年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
旅費	近接地内外旅費	197	旅費	近接地内外旅費	159	旅費	近接地内外旅費	284
需用費	光熱水費・一般需用費・家屋等修繕費	61,018	需用費	光熱水費・一般需用費・家屋等修繕費	57,846	需用費	光熱水費・一般需用費・家屋等修繕費	64,716
役務費	電話・通信・郵便・手数料等	8,200	役務費	電話・通信・郵便・手数料等	8,384	役務費	電話・通信・郵便・手数料等	9,795
委託料	施設管理に係る業務委託等	104,183	委託料	施設管理に係る業務委託等	106,849	委託料	施設管理に係る業務委託等	111,716
使用料	トイレ衛生装置・AED貸借等	966	使用料	トイレ衛生装置・AED貸借等	966	使用料	トイレ衛生装置・AED貸借等	1,044
その他	報償費・備品費等	706	その他	報償費・備品費等	870	その他	報償費・備品費等	919

行政コスト計算書	勘定科目		5年度	6年度	差額	行政収入	勘定科目		5年度	6年度	差額
	給与関係費		15,933	30,653	14,720		地方税等		0	0	0
物件費		162,795	169,240	6,445	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		11,954	5,243	▲ 6,711	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		520	591	71	使用料及び手数料		8,378	8,983	605		
減価償却費		252,691	252,691	0	その他		3,395	3,933	538		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		11,773	12,916	1,143		
賞与・退職給与引当金繰入額		969	3,935	2,966	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 433,089	▲ 449,437	▲ 16,348		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		▲ 7,364	▲ 6,791	573		
行政費用合計(b)		444,862	462,353	17,491	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 440,453	▲ 456,228	▲ 15,775		
特別費用(g)		833	0	▲ 833	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		▲ 833	0	833	当期収支差額(e)+(h)		▲ 441,286	▲ 456,228	▲ 14,942		

行政費用では、物件費(光熱水費等)が増加し、施設修繕等の維持補修費が減少した。行政収入は、地下駐車場使用料等の貸付料(使用料及び手数料)や、カフェ等の光熱水費受入、グッズ売上等(その他)の収入である。

問題点・課題

- 定期的な保守点検や必要な修繕により、施設の維持管理を行い、予防保全の観点から計画的な修繕を実施することにより、施設の長寿命化を図る必要がある。
- 各種イベントについて、子育て世代や働く世代が参加しやすい仕組みとする必要がある。
- ボランティア登録者が気軽に事業に参加できる環境を整えると同時に、継続して活動できるよう支援していく必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	定期的な保守点検や修繕により、適切な維持管理を図り、施設の長寿命化に努める。	保守点検の結果や設備の不具合に対して、適切に対応した。	定期的な保守点検や修繕により、適切な維持管理を図り、施設の長寿命化のために努めていく。
②	子育て世代や働く世代など、幅広い年齢層が参加できるイベントや事業を実施していく。	幅広い年齢層が参加できるイベントとして、宇宙に関する講演会やカフェと連携したワークショップ等を実施した。	人気のあるイベントを継続するとともに、働く世代を対象としたイベントなどの実施を検討していく。
③	ボランティア活動の参加者を増やすため、ボランティア養成講座への参加を促すと同時に、活動内容の発信や周知等を図っていく。	園芸講座を初心者でも参加しやすい内容に見直したことで、継続受講者が増えるとともに、参加者のボランティア登録に結びついた。	講座内容の充実を図るとともに、活動状況の発信や周知等を通じて、ボランティア登録や活動の支援に取り組んでいく。
他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区) 図書館、文学館、子どものための施設が融合した、これまでにない新しいコンセプトの施設である。		
議(要質)問(状)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度決特 ゆいの森あらかわの周知について、ボランティアの活用について</li> <li>平成29年度決特 サインの見直しについて、カフェの運営について、事業者と連携したイベントの実施について</li> <li>平成29年度予特 適切な施設管理について、魅力あるイベントについて</li> <li>令和6年6月会議 企画・展示の更なる充実について</li> </ul>		

# 事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	05-04-02	戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事					
事務事業名	子どもひろば運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課		課長名	岡村		
		担当者名	子安、市川		内線	2256		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-05-01	子どもひろば運営費						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業                   ( <input type="radio"/> 7年度 <input type="radio"/> 6年度 )		<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業					
開始年度	平成 29 ( 2017 ) 年度	根拠法令等	一時預かり実施要綱					
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 令和 ( ) 年度							
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	子どもたちが多様な体験や学びによって、将来の夢を育む支援を行う。また、乳幼児とその保護者や小中学生の安全な居場所を提供する。							
対象者等	主に中学生以下の生徒、児童、乳幼児とその保護者							
内容	【乳幼児（主に遊びラウンジ）】 えほん館との融合を図りながら、雨の日でも安心して過ごすことができる成長に合わせた室内遊具を設置。常駐する保育士等が親子の遊びや交流を支援するほか、子育て講座や育児相談を実施。 【児童、生徒（主に学びラウンジ）】 約50種類の体験キットや理科実験等のワークショップの実施を通じて、子ども達に体験を提供するほか、居場所を提供。 【一時預かり】 区内在住の未就学児（生後6か月以上）、かつ、ゆいの森の館内利用者が対象。 ①利用時間：1時間単位で最大3時間/日まで                   ②定員：4名                   ③利用限度：一人当たり21時間/月 ④費用：1時間当たり500円（兄弟姉妹同時利用の場合は、二人目以降250円）							
経過	平成21年11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置 平成23年 7月（仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定 平成28年 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 体験キット、星空学習ソフト、デジタル地球儀など小中学生を対象とした体験事業を開発 平成29年 3月26日 開館 令和2年3月26日～4月7日 新型コロナウイルス感染症の影響により、サービスを休止 4月8日～5月29日 新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館 令和2年4月～ 7月 乳幼児一時預かりを委託から直営に変更 7月～ 新型コロナウイルス感染症の影響により、定員制限のうえ再開 令和5年5月8日～ 5類移行後は、感染対策を継続して運営							
必要性	子どもたちの安全な居場所や自主的な学びの場を提供するとともに、子育て世代のコミュニティの場として活用されており、必要性は高い。							
実施方法	（ 1直営 ）                      （ 直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤職員 <input checked="" type="radio"/> 会計年度任用職員 ）							
指   標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			4年度	5年度	6年度	7年度見込み		目標値(8年度)
	①	遊びラウンジ利用者数	19,033	24,919	25,806	26,735	39,000	子どものみ
	②	体験キット貸出件数	8,607	11,497	12,135	13,500	27,000	
③	一時預かり利用率（%）	55.4	62.0	68.6	75.2	65.0		
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
7年度		8年度						
重点的に推進		重点的に推進		乳幼児とその保護者や小中学生の居場所として子どもひろばの充実を図っていくとともに、未来を担う子どもたちに様々な体験を提供し、将来へ夢を育む場となるよう、重点的に推進する。				

予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		23,160	11,560	13,562	13,705	13,749	17,584	20,886
決算額 (7年度は見込み)		20,908	8,044	10,525	12,031	11,747	15,049	20,886
実績の推移	事項名 (7年度は見込み)	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	一時預かり者数 (延べ人数)	2,998	1,343	2,199	3,071	4,836	5,560	6,091
	体験キット等保有数 (種類)	26	31	35	35	45	47	49
	校外学習参加者数	1,442	0	1,517	1,785	1,560	1,525	1,557
	ワークショップ等参加者数	3,289	253	728	937	2,979	3,003	3,601
予算・決算の内訳								
令和5年度 (決算)			令和6年度 (決算)			令和7年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報酬	会計年度任用職員 (日額) 報酬・旅費等	7,152	報酬	会計年度任用職員 (日額) 報酬	9,378	報酬	会計年度任用職員 (日額) 報酬	10,847
職員手当	臨時職員期末手当	1,290	職員手当等	会計年度任用職員 (日額) 期末・勤勉手当	2,933	職員手当等	会計年度任用職員 (日額) 期末・勤勉手当	3,930
報償費	講師謝礼	147	報償費	講師謝礼	155	報償費	講師謝礼	311
旅費	会計年度任用職員 (日額) 員通勤費	176	旅費	会計年度任用職員 (日額) 通勤費	200	旅費	会計年度任用職員 (日額) 通勤費	281
需用費	消耗品費等	1,923	需用費	消耗品費等	1,517	需用費	消耗品費等	1,972
役務費	デジタル地球儀通信料等	103	役務費	デジタル地球儀通信料等	103	委託料	ワークショップ委託等	3,349
委託料	ワークショップ委託等	956	委託料	ワークショップ委託等	763	その他	役務費、備品費	196

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	5年度	6年度	差額	勘定科目	5年度	6年度	差額
		給与関係費	26,159	32,377		6,218	地方税等	0
物件費	3,090	2,583	▲ 507	国庫支出金	2,647	3,190	543	
維持補修費	0	0	0	都支出金	2,647	3,190	543	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	215	155	▲ 60	使用料及び手数料	0	0	0	
減価償却費	0	0	0	その他	2,300	2,612	312	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計 (a)	7,594	8,992	1,398	
賞与・退職給与引当金繰入額	1,178	2,703	1,525	行政収支差額 (a)-(b)=(c)	▲ 23,048	▲ 28,826	▲ 5,778	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額 (d)	0	0	0	
行政費用合計 (b)	30,642	37,818	7,176	通常収支差額 (c)+(d)=(e)	▲ 23,048	▲ 28,826	▲ 5,778	
特別費用 (g)	0	0	0	特別収入 (f)	12	0	▲ 12	
特別収支差額 (f)-(g)=(h)	12	0	▲ 12	当期収支差額 (e)+(h)	▲ 23,036	▲ 28,826	▲ 5,790	

備考 行政費用では、主に給与関係費が多くを占めている。物件費、補助費等が減少したが、物件費は消耗品費及びワークショップ等の実施方法を工夫したことにより委託費が減少したことが一因である。行政収入では、乳幼児一時預かり利用料 (その他) が増加している。

問題点・課題 ・遊びラウンジについて、子ども達に多様な体験が提供できるよう、子ども達の意見等を踏まえて、ワークショップや体験キットの企画製作等を実施していく。  
・遊びラウンジについて、子育て世代の交流の場として、交流の促進及び子育て情報の提供を図るとともに、育児支援に関する講座等を実施する必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	他機関との連携を継続し、子ども達が多様な体験ができるよう、体験キットの製作やワークショップの実施に取り組む。	他機関と連携した多様なワークショップや都事業の子ども向けデジタル創作体験を実施したほか、体験キットの企画製作に取り組んだ。	他機関との連携を継続しつつ、ワークショップの充実を図ることによって、子ども達に多様な体験の場を提供する。
②	親子の安全な居場所としての環境の整備、子育て親子の交流・利用者同士の交流のきっかけの場や子育て情報を提供する。	遊びラウンジにおいて、親子の遊びや交流支援を行ったほか、他部署との連携を強化し、親子の安全な居場所としての機能を強化した。	親子の遊びや交流の支援、安全な居場所としての環境整備のほか、利用者の意見を踏まえた子育て講座を実施していく。
③			

他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

遊びラウンジは、国の事業である「地域子育て支援拠点事業」に基づき実施している。

議(要質)問(状) 況  
・平成29年度 決特 乳幼児一時預かりについて  
・平成30年度 予特 乳幼児一時預かりについて  
・令和元年度 決特 乳幼児一時預かりについて

# 事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	05-04-03	戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	中央図書館運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	岡村		
		担当者名	古川	内線	2256		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-04-01	中央図書館運営費					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 7年度 <input type="radio"/> 6年度）		<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	平成 28（ 2016 ）年度	根拠	図書館法、荒川区立ゆいの森あらかわ条例、荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無                   令和（ ）年度	法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進				
目的	図書資料や図書館オンラインシステムを充実させ、関係機関と協力して読書活動に親しむ多様な事業展開を行うことによって、子どもたちの読書環境の整備や区民の読書活動を推進し、利用者の課題解決や生涯学習を支援する。						
対象者等	図書館利用者、その他図書館等関係機関						
内容	○多様化するニーズに応え、課題解決を支援できるよう、一般的な資料から専門的な資料まで幅広く購入し、配架方法を工夫する等、誰でも利用しやすい環境を提供する。 ○30万冊規模の開架の書架等を活用した、特集コーナー等の設置やイベントでの関連図書資料の展示など、図書資料の積極的な活用を行う。 ○大規模な蔵書を効率的かつ効果的に管理し、良質なサービスを提供する。 ○絵本館、現代俳句センターなど、特徴となる資料の収集・提供を行い、俳句資料については、現代俳句協会との協定に基づき、関係部署と連携しながら事業を進める。 ○読書を楽しむまち・あらかわ宣言及び豊かな心を育む読書のまちづくり条例に基づき、地域図書館、学校図書館、街なか図書館が連携し、本が身近にあるまちづくりを進める。 【蔵書規模】 開架30万冊、閉架30万冊 【資料】 書籍 AV 雑誌 新聞						
経過	昭和37年 3月 荒川図書館開館 平成5年10月 図書館オンラインシステム稼働、平成10年 5月 南千住図書館開館 平成18年 4月 「これからの図書館調査懇談会報告書」、「荒川区子ども読書活動推進計画」策定 平成20年 7月 第1回柳田邦男絵本大賞を創設、「特色ある図書館づくり」を目指し、分担収集開始 平成23年10月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第二次）」策定 平成28年 4月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第三次）」策定 平成29年 3月 中央図書館開館（旧館である荒川図書館は平成28年12月に閉館） 平成30年 5月 「読書を楽しむまち・あらかわ」宣言 令和3年 4月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第四次）」策定 令和5年 4月 「荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例」施行 令和6年10月 「荒川区電子図書館サービス」試行実施						
必要性	多様化するニーズと課題に対応し、区民の読書活動や生涯学習等を支援し、自ら課題を解決することができる環境づくりに必要な事業である。						
実施方法	（ 2一部委託 ）                      （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員 ） 配本車運行業務、図書館オンラインシステム機器保守委託、図書館資料装備委託等						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		4年度	5年度	6年度	7年度見込み	目標値(8年度)	
	① 区民1人当たりの蔵書冊数(冊)	4.48	4.56	4.44	4.5	4.8	(全館) 蔵書点数÷住基人口
	② 区民1人当たり個人総貸出点数(点)	10.26	9.7	9.6	9.8	10.0	(全館) 貸出点数÷住基人口
③ 個人登録者数(人)	88,823	98,065	102,558	107,000	130,000	(全館) 4月1日現在	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
7年度	8年度						
重点的に推進	重点的に推進	豊かな心を育む読書のまちづくりを推進していくにあたり、中央図書館は核となる拠点であるため、重点的に推進する。					

予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		143,584	149,673	215,540	147,028	152,590	172,205	180,073
決算額 (7年度は見込み)		132,219	138,218	202,069	137,340	144,938	161,001	180,073
実績の推移	事項名 (7年度は見込み)	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	入館者数 (人) ※中央館のみ	697,418	355,860	510,961	618,902	684,244	718,631	788,000
	個人総貸出点数 (点) ※	727,666	608,091	738,031	744,966	738,892	736,477	724,334
	特集コーナー設置数 (回) ※	210	184	220	282	315	272	312
	おはなし会開催回数 (回) ※	65	32	41	75	117	60	104

予算・決算の内訳								
令和5年度 (決算)			令和6年度 (決算)			令和7年度 (予算)		
節	主な事項		節	主な事項		節	主な事項	
	金額 (千円)			金額 (千円)			金額 (千円)	
報酬等	会計年度任用職員 (日額) 報酬・旅費等	18,783	報酬等	会計年度任用職員 (日額) 報酬・旅費等	22,746	報酬等	会計年度任用職員 (日額) 報酬・旅費等	27,082
報償費	各種講座講師謝礼	2,235	報償費	各種講座講師謝礼	1,188	報償費	各種講座講師謝礼	2,250
需用費	図書資料購入費等	52,195	需用費	図書資料購入費等	52,916	需用費	図書資料購入費等	59,314
役務費	配本車運送料等	13,344	役務費	配本車運送料等	18,619	役務費	配本車運送料等	23,831
委託料	図書館オンラインシステム機器保守委託等	27,962	委託料	図書館オンラインシステム機器保守委託等	36,197	委託料	図書館オンラインシステム機器保守委託等	37,996
使用料及び賃借料	図書館オンラインシステム機器賃借料等	26,475	使用料	図書館オンラインシステム機器賃借料等	28,822	使用料	図書館オンラインシステム機器賃借料等	28,992
その他	備品購入費・負担金	1,101	その他	備品購入費・負担金	513	その他	備品購入費・負担金	608

行政コスト計算書	勘定科目	5年度	6年度	差額	勘定科目	5年度	6年度	差額
	行政費用	給与関係費	89,923	92,393	2,470	地方税等	0	0
物件費		125,181	136,987	11,806	国庫支出金	105	1,966	1,861
維持補修費		0	0	0	都支出金	52	30	▲ 22
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等		2,085	1,419	▲ 666	使用料及び手数料	0	0	0
減価償却費		0	0	0	その他	479	3,426	2,947
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計 (a)	636	5,422	4,786
賞与・退職給与引当金繰入額		4,611	9,221	4,610	行政収支差額 (a)-(b)=(c)	▲ 221,164	▲ 234,598	▲ 13,434
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額 (d)	0	0	0
行政費用合計 (b)		221,800	240,020	18,220	通常収支差額 (c)+(d)=(e)	▲ 221,164	▲ 234,598	▲ 13,434
特別費用 (g)		0	0	0	特別収入 (f)	24	0	▲ 24
特別収支差額 (f)-(g)=(h)		24	0	▲ 24	当期収支差額 (e)+(h)	▲ 221,140	▲ 234,598	▲ 13,458

備考 行政費用では、電子図書館サービスの開始、配本車運行業務及び図書館資料装備委託の実績増に伴い、物件費が増加した。行政収入では、電子図書館サービス導入に係る国庫支出金及びブックスタート事業に係る交付金(その他)が増加した。

問題点・課題  
 ・「荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例」の趣旨を踏まえ、様々なイベント等をさらに実施するとともに、誰もが読書に親しめる環境整備を進め、より多様な利用者に向けたサービスの周知や情報発信を行う必要がある。  
 ・新生児が本に触れ合う最初の機会を提供するための「ブックスタート」や、読み聞かせの習慣を継続するための3歳児への「セカンドブック」の参加率を向上させる必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	条例の趣旨を踏まえた様々なイベントをさらに実施するとともに、より多様な利用者に向けた資料収集やサービスの周知を行う。	条例の趣旨を踏まえた様々なイベントを実施するとともに、より多様な利用者に向けた資料収集やサービスの周知を行った。	条例の趣旨を踏まえた様々なイベントを実施するとともに、多様な利用者に向けてさらなる資料収集やサービスの周知を行う。
②	「ブックスタート」及び「セカンドブック」のさらなる周知を図るとともに、ボランティア養成講座についても、継続実施する。	「ブックスタート」及び「セカンドブック」のさらなる周知を図るとともに、ボランティアのフォローアップを実施した。	「ブックスタート」及び「セカンドブック」のさらなる周知を図るとともに、ボランティアの活動体制を維持していく。
③			

他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)  
 中央図書館については全区が設置し、子ども読書推進計画の策定、図書館オンラインシステムの導入がなされている。

議(要質)問(状)  
 ・令和2年度 予特 読書を楽しむまちあらかわのPRについて  
 電子図書の導入について  
 ・令和4年度 決特 読書活動について (条例を制定する目的、宣言と条例の違いについて)  
 ・令和4年度 予特 ブックポストの利用状況・増設について、ブックポストの設置場所について  
 ・令和6年度 決特 学習室の利用状況及び予約の運用について



予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		22,971	21,141	18,422	18,085	17,796	19,119	24,870
決算額 (7年度は見込み)		18,531	16,397	16,903	17,197	16,939	14,761	24,870
実績の推移	事項名 (7年度は見込み)	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	文学館来館者数 (人)	53,584	32,007	39,244	46,624	49,234	50,511	60,260
	事業の参加者人数 (人)	663	644	479	596	641	507	650
	文学館友の会会員数 (人)	397	407	470	520	522	561	605
	吉村作品の貸出数 (冊)	1,814	1,403	1,705	2,032	2,277	2,312	2,500
予算・決算の内訳								
令和5年度 (決算)			令和6年度 (決算)			令和7年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報償費	企画展等謝礼	1,124	報償費	企画展等謝礼	215	報償費	企画展等謝礼	1,366
需用費	資料購入・印刷製本	1,624	需用費	資料購入・印刷製本	1,736	需用費	資料購入・印刷製本	3,406
役務費	展示資料等運搬費	5,069	役務費	展示資料等運搬費等	4,463	役務費	展示資料等運搬費等	6,169
委託料	企画展展示製作物等	7,914	委託料	企画展展示製作物等	7,456	委託料	企画展展示製作物等	12,395
使用料	著作権使用料	500	使用料	著作権使用料	56	使用料	著作権使用料	635
備品購入費	文学館備品購入費	500	備品購入費	備品購入費	515	備品購入費	備品購入費	519
報酬等	会計年度職員報酬・負担金等	307	報酬等	会計年度職員報酬・負担金等	320	報酬等	会計年度職員報酬・負担金等	380

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	5年度	6年度	差額	勘定科目	5年度	6年度	差額
		給与関係費	21,491	26,112		4,621	地方税等	0
物件費	15,427	14,191	▲ 1,236	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	1,226	270	▲ 956	使用料及び手数料	49	1	▲ 48	
減価償却費	0	0	0	その他	1,174	823	▲ 351	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,223	824	▲ 399	
賞与・退職給与引当金繰入額	1,289	3,314	2,025	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 38,210	▲ 43,063	▲ 4,853	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	39,433	43,887	4,454	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 38,210	▲ 43,063	▲ 4,853	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 38,210	▲ 43,063	▲ 4,853	

行政費用については、文学館周知及びイベント企画のため給与関係費が増加し、企画展示方法の変更にかかる物件費（一般需用費、委託料）とトークイベント講師謝礼の辞退による補助費等（報償費）が減少した。行政収入では、特別観覧手数料及び吉村昭記念文学館友の会会費（その他）の収入が減少した。

・他部課との連携を強化するとともに、福井県ふるさと文学館、三鷹市吉村昭斎斎をはじめ、他館や他自治体との連携の幅を広げ、事業を展開することで、来館者の増加を図る必要がある。  
 ・要望の多いイベント（上映会等）の実施や、友の会会員向けイベントの実施により、会員の満足度を高めるとともに、吉村文学の読者層を広げ、文学館への来館、新規入会・更新につなげる必要がある。  
 ・ウェブ・SNS等によるイベント情報の発信を通じ、文学館を身近に感じてもらうことで、若年者層等の新たな客層を呼び込み、吉村昭作品の貸出数の増につなげる必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	来館いただいたことがない方も興味を持ちやすい展示を行っていく。また、幅広く他館・他自治体と連携していく。	企画展にて多くの関係機関から資料を借用した。また、アンケートで要望が多かった上映会を実施し、新たな集客を図った。	他の作家を取り入れた展示や著名人によるイベント、動画配信等により、新たな客層の獲得を図る。
②	会員が楽しめるイベント実施等により、更なる魅力向上に努めるとともに、友の会会員向け情報発信等を引き続き行う。	友の会入会時に特典がつくキャンペーンを実施したほか、会員優先募集のイベントや参加型企画を行い、会員数増につなげた。	会員向けイベントの実施や魅力的なグッズ制作・周知により、友の会の新規入会や更新につなげる。
③	ウェブ・SNS等によるイベント情報の発信を更に進める。クラウド型収蔵品管理システムによる資料の活用を促進する。	メディア対応やSNS等により幅広い世代へ発信した。クラウド型収蔵品管理システムのデータ移行作業を進め、資料調査に活用した。	クラウド型収蔵品管理システムを利用し、将来的に収蔵資料の一部ウェブ公開・音声配信等を行えるよう作業を進める。

他区の実況	(実施 9 区)		未実施 13 区		不明 0 区)	
	文学館設置区	港区、新宿区、文京区、台東区、大田区、世田谷区、渋谷区、北区、練馬区				
議(会)質(問)状(要)旨	・平成18年 三定 記念館の設置要望について ・平成23年 四定 文学館開館に向けた事前周知について ・平成26年度 予特 友の会の設立について ・平成29年度 決特 文学館の周知、友の会、上映会について ・令和6年度 決特 文学館での映画「雪の花 ーとともに在りてー」のPRについて					